

岩手県野田村の支援活動報告（2011年12月17日）

12月17日（土）の支援活動は、クリスマスイベントに向けて、クリスマスツリーの飾り（オーナメント）を作成しました。急遽の募集にもかかわらず、学生14名、教職員2名、市民5名の計21名に参加・協力をいただきました。当日、弘前ではかなり雪が降っていましたが、岩手県に入ると、雪がぱったり止み、気候が全然違うねと、参加者の方々が話していました。バスの移動にそれほど遅れもなく、8時に出発した後、11時半頃野田村に到着しました。



大野での集合写真



押し花でのカード作り

活動は、東京の「月島アートスクール」さんが呼びかけたもので、野田村生涯学習センターの2階で行われました。1時より、まずは、弘前より、工藤さん主催の押し花を用いたクリスマスカード作りが始まりました。押し花カードは、次のように作りました。最初に、台紙の色（黒、赤、黄、ピンク、オレンジ、黄緑、水色、白）を選び、その上にメッセージを記したカードを置きます。それから、さまざまにある花の中から、好きなものを選び、カードに配置していきます。最後に、台紙、押し花、メッセージカードをはさみこむシートをかぶせ、機械でラミネート加工をして、「カード」にします。ラミネート加工の工程で発色がより鮮やかになり、カードの出来栄えに皆さんが感歎していました。色々なおしゃべりが進みながらの作業でした。

続いて、2時半から、月島アートスクールの伊藤さんの主催で、クリスマスツリーに飾る白い花をみなで作りました。これは、やわらかい白い生地、緑のテープ、針金を組み合わせでバラを作るものです。最初は作るのが難しく、私自身が作った花は、あまり花らしくない花になりました。しかし、参加者の皆さんは器用に花を作っていく、ツリーに飾るのに十分な数のフラワーが、出来上がりました。



出来上がったカード



クリスマスツリー用のオーナメントフラワー

今回の活動は、楽しく進めていくことができました。こういった飾り作成の作業を野田村の子どもさんや保護者の方々と一緒に行いながら交流を進めていく予定だったのですが、残念だったのは、野田村の方からの参加人数がとても少なかった点です。帰りのバスの感想の中でも、「楽しかったけれども、交流ができなかったのが残念」という声が多くありました。こうした、催事にかかわる支援活動のあり方は、今後、運営側でしっかりと考えていくべき課題だと思われます。

それでも、今回、参加者のみなさんで作った飾り、また、そこに込められたメッセージは、クリスマスとその先の支援活動につながっていくものであり、その様子を共有していければと思いました。来週の報告を楽しみにしています。

(担当：日比野愛子)